

# 幌西小だより

平成29年9月8日

第8号

＜教育目標＞

心豊かでたくましく生きぬく  
実践力のある人間の育成

登別市立幌別西小学校

TEL：0143-85-2364

FAX：0143-85-2025

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果から、本校の状況は・・・。

## 国語A・B，算数Aで 全道平均と同程度以上

### 国語A・算数Aは 全国平均と同程度以上

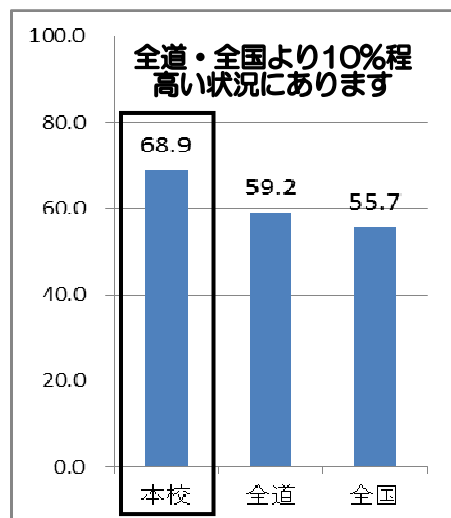
6年生を対象に、4月18日（火）に行われた全国学力・学習状況調査の結果、本校の子どもたちの平均正答率は、3科目（国語A・B，算数A）で全道平均と同程度以上、特に、国語A・算数Aは全国平均と同程度以上の結果となりました。

国語科では、内容の中心を明確にして詳しく書く、文章の中から必要な情報を見つけて読む、俳句の情景を捉える、ことわざの意味の理解、漢字を読むことができました。算数科では、整数、小数、分数の計算をはじめ、2つの数量の関係を式に表す、最小公倍数を求める、円の中心角や立体図形の性質を理解しています。

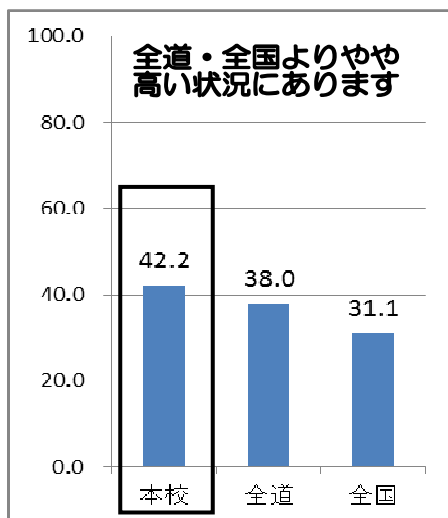
一方、国語科では場に応じた適切な言葉遣いで話したり、必要な事柄を整理して書いたりすること、具体的な叙述を基に理由を明確にして自分の考えをまとめること、算数科では二次元表の理解や、基準量・比較量・割合の関係を的確に捉え、判断したわけを式や数字、言葉を使って表現することに課題がありました。

学力調査と同時に行われた **児童質問紙調査** から、家庭での学習に関する状況について・・・。

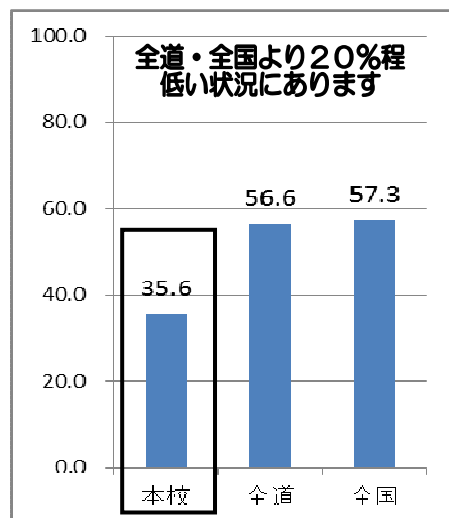
平日、2時間以上、テレビ、ビデオ、DVDを見たり聞いたりする割合の比較



平日、2時間以上、テレビゲーム、コンピュータゲーム等をする割合の比較



平日、学校の授業時間以外に、1時間以上、学習している割合の比較



上記の児童質問紙の回答結果から・・・。

本校の子どもたちは、テレビやゲームを2時間以上見たり遊んだりしている割合は、依然全国・全道平均より高く、1時間以上、家庭で学習する割合が低い状況にあります。

# 学力・学習状況調査の結果から、全国平均正答率と最も差のあった設問

## ◇国語A問題で、全国平均と最も差のあった設問です【設問7】 全国より-7.9%

※ 漢字を正しく読んだり書いたりすることができるかどうか。

ひらがなを漢字で書きましょう。

(1) 参加たいしょう

(正答) 対象

▼本校で正しく書けた割合は約30%で、何も書けなかった子どもの割合(無解答率)も18.2%でした。

▼「対」は3年生、「象」は4年生で習っていますが、しっかりと定着できていませんでした。

※習った漢字をしっかりと身に付けるためには、繰り返し学習した漢字を書いて練習することはもちろん、普段から習った漢字を正しく使おうとする態度が大切です。毎日の家庭学習に加え練習に取り組みましょう。

## ◇国語B問題で、全国平均と最も差のあった設問です【設問3三】 全国より-11.9%

※ 物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることができるかどうか。

大岩さんの学級では、あまんきみこさんが書いた「きつねの写真」という題名の物語を読み、それぞれが考えたことについて、文章中の表現を示しながら話し合っています。次は、【物語の一部】と【話し合いの様子の一部】です。

これらを読んで、後の問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】の中の口のところで、田中さんは【物語の一部】の言葉や文を取り上げながら、松ぞうじいさんやとび吉がきつねであると考えたわけを話しています。

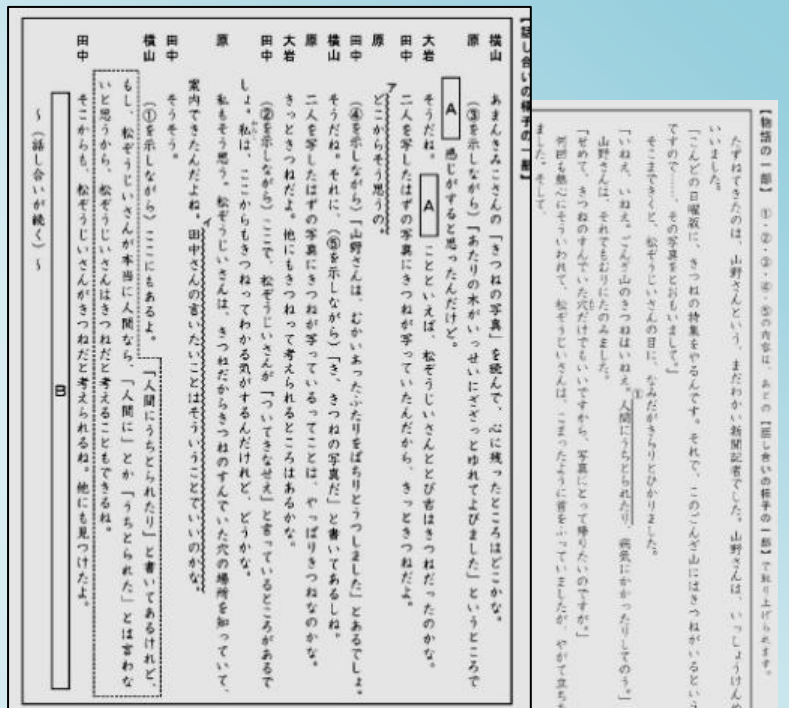
あなたが田中さんなら、どのようなわけを話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

【条件】

- ①口の横山さんのように、【物語の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- ②取り上げた言葉や文をもとに、どうして松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えるのかを書くこと。
- ③60字以上、100字以内で書くこと。

(正答例) 「松ぞうじいさんの目に、なみだがきらりとひかりました」というところは、人間にうちとられてしまった仲間のきつねを思う気持ちが表れていると思うから、松ぞうじいさんはきつねだと考えたよ。(90字)

※この設問では、まず4ページにわたる物語文を読んでから解答します。長文を読み進めながら言葉や文を基に理由を明確にして自分の考えをまとめるには、一つの場面だけでなく、複数の場面を関係付けて読むことが重要です。読むことへの抵抗がなく、書いてあることを読み取る力を付けるためにも、改めて日常的な読書習慣が大切です。



◇算数A問題で、全国平均と最も差のあった設問です【設問4】 全国より-18.4%

※ 任意単位による測定について理解しているかどうか。

次の2つのびんにいっぱいに入れた水のかさを比べます。

2つのびんにいっぱいに入れた水のかさは、同じ大きさのコップに分けて、それぞれコップ何ばい分かで比べることができます。この比べ方と同じように、ものの重さや長さを同じ



大きさのいくつ分かで比べているものは、次の1から4までの中のどれですか。2つ選んで、番号を書きなさい。

(正答) 1と4

※同じものを使って比較する方法を選択する設問です。もの比べる際には直接比較できない場合があり、日常の中でもそうした場合の比べ方を考えたり工夫したり経験が大切です。

1 のりと消しゴムの重さを、てんびんを使って、同じ重さの積み木の個数で比べます



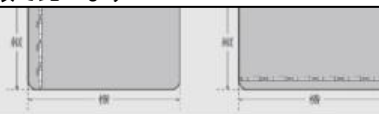
2 分度器と三角定規の重さを、てんびんを使って、どちらにかたむいているかで比べます



3 2本の鉛筆の長さを、鉛筆のはしを揃えて立て、どちらのえんぴつの先が高いかで比べます



4 ある机の縦と横の長さを、同じ長さのポールペンの本数で比べます



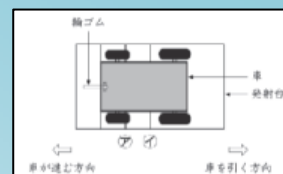
◇算数B問題で、全国平均と最も差のあった設問です【設問3(2)] 全国より-14.7%

※ 仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を、言葉や式を用いて記述できるかどうか。

かずやさんたちは、ゴムで動く車を作りました。

車が進んだきよりを5回調べ、表2のようにまとめました。表2をもとにきよりの平均を考えます。

かずやさんは、平均を求める計算を簡単にするために、7mをこえた部分に着目し、次のように平均を求めました。



【かずやさんの平均の求め方】

7mをこえた部分の平均をもとめます。  
 $(52 + 31 + 54 + 20 + 43) \div 5 = 40$   
 7mに、求めた平均の40cmをたします。  
 車が進んだきよりの平均は、7m40cmです。

表2 ①の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合の記録

回数	車が進んだきより
1	7m 52cm
2	7m 31cm
3	7m 54cm
4	7m 20cm
5	7m 43cm

【かずやさんの平均の求め方】を聞いた はるなさんは、次のように考えました。



7mのかわりに、7m20cmをこえた部分に着目しても、平均をもとめることができます。

7m20cmをこえた部分に着目した平均の求め方を、言葉や式を使って書きましょう。

(正答例) 7m20cmをこえた部分の平均をもとめます。  
 $(32 + 11 + 34 + 0 + 23) \div 5 = 20$   
 7m20cmに、求めた平均の20cmをたします。  
 車が進んだきよりの平均は、7m40cmです。

※問題の前半にある考え方を用いて、平均の求め方を言葉や式で書く力が求められています。誤答の多くは、 $(32 + 11 + 34 + 23) \div 4 = 25$  というように平均の求め方によるものでした。

本校では、学力調査の結果をもとに、子どもの学習状況を学校全体で確かめ、学習指導への着実な成果の上に立ち、今後ご家庭の皆様のご協力をいただきながら、子どもの学力保障に努めてまいりたいと考えております。

## 知徳体を一体とした学力形成を目指して～ご家庭のみなさまへ

本校では、子どもたち一人ひとりに「分かった」「できた」「使えた」を実感できる授業による学習内容の定着を基盤に、豊かな心の育成、体力向上の3つをバランスよく育てる中で、子ども一人ひとりが将来自立して生きていくために必要な基礎学力（本校が掲げる「総合的な学力」）を身に付けさせようと、次のような指針のもとで取組をすすめてまいります。

- **子どもの学ぶ意欲をはぐくみ、**  
「分かった」「できた」「使えた」を実感できる授業の実践
- **子どもが家庭で取り組む課題を工夫し、**  
「学年×10分以上」の学習習慣の定着
- **学習時間を確保し、**  
「早ね早起き朝ご飯」を日常とする望ましい生活習慣の確立
- **子どもの学びの連続性を踏まえ、中学校との授業交流や**  
学習規律の確立など、小・中学校が連携した取組の推進

そして、これらの取組をいっそう効果のあるものとするため、学校の取組とあわせて、以下のことについて **ご家庭のみなさまのご協力を** 改めてお願いします。

**学習時間を決めて**  
**毎日取り組ませましょう**

学習時間の目安は

**学年 × 10分以上**

○学年段階等に応じて、無理なく学習時間を増やしていきましょう。

テレビやゲーム、インターネットやメールなど  
**メディアに触れる時間**を決めましょう

メディアに触れる時間の目安は

**1日合計 2時間以内**

○家庭でしっかり約束を決めて、学習時間や睡眠時間を確保しましょう。

**早寝早起き朝ごはんの**  
**生活リズムを整えましょう**

1日を元気に過ごす睡眠時間の目安は

**8 ～ 10 時間**

○元気に学校生活を過ごせるよう、規則正しい生活習慣を確立しましょう。

**たくさんの本にふれる**  
**読書の習慣**を身に付けましょう

家で、読書する時間の目安は

**まずは1日10分以上**

○読書の量を増やすだけでなく、さらに読書の幅も広げていきましょう。